



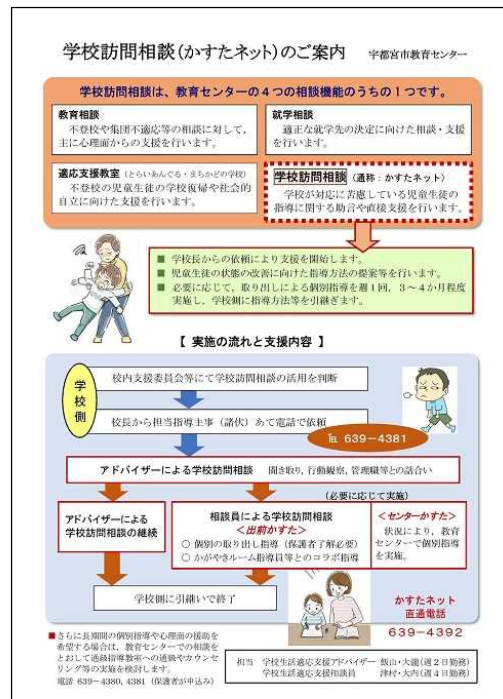
かすたネットって何をするの？

本年度、新たに「かすたネット通信」を発行することになりました。学校訪問相談（かすたネット）の指導のポリシーやノウハウなどについてお伝えしていきます。

記念すべき第1号では、過日、全校配付した案内リーフレット（右）の内容を補足説明します。例年4月の校長会議で周知がなされていますが、実際に利用したことがないと分かりにくいと思います。

かすたネットでは、対応が困難な児童生徒に関する支援要請を受けて、主に学校に出向いての相談活動を行っています。スタッフは、いずれも会任職のアドバイザー2人と相談員2人の計4人です。

昨年度は小学校42校、中学校3校から支援要請があり、103人の児童生徒に関する相談に対応しました。SCの訪問が少ない小学校からの要請が圧倒的に多くっており、そのほとんどが行動上の問題です。訪問は1回のみの場合から、数か月間にわたり毎週1回行う場合まで、児童生徒や学校の状況によりまちまちです。



相談の進め方としては、アドバイザーが訪問して、校長等からの聞き取り、授業中の行動観察、関係の先生方との協議の順に進めていき、対応の方向性や具体策を提案・助言して終わるという流れです。再度の要請があれば、複数回、訪問します。

一部の子に対しては、相談員が訪問して、取り出しによる個別指導（出前かすた）を週1回1時間、期間を定めて行います。対象児童生徒は状況を見て判断します。

かがやきルームに繋がっている場合は、指導員の先生と協働による指導（コラボ指導）が可能となります。

出前かすたでは、指導方法を検討、試行して改善への足掛かりを掴み、それを学級担任やかがやきルーム指導員等に引き継ぎ、指導の連続性が保たれることを目指します。昨年度は11人の児童を対象に実施しました。適切な対応が校内で足並みを揃えて継続されれば、時間はかかるかも知れませんが状況は着実に改善していきます。

校内では落ち着いて取り組めない場合は、教育センターに場所を移して指導する場合があります（センターかすた）。

このほか、校内でケース会議を行う場合に参加をさせていただくこともあります。

問題の改善・解決に特効薬はありません。私たちも学校と一緒に考え、悩みながら助言や支援活動をさせていただきますので、よろしくお願いします。

担当 学校生活適応支援アドバイザー（飯山・大瀧）
TEL 639-4392